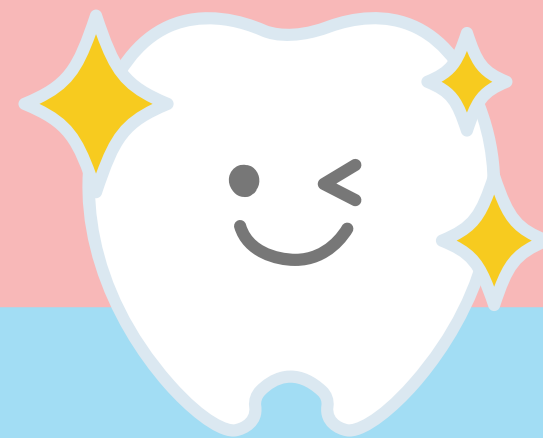


ミルハを活用して

患者さんを深掘りしてみよう！



シルハを活用して
患者さんを
深掘り

シルハを行うタイミングは？



シルハを活用して
患者さんを
深掘り

シルハを行うタイミング？



**初診時
DA・DH**



**歯周基本治療
終了時
DH**



**メンテナンス移行時
・
メンテナンス中
DH**

検査対象者:3歳以上のうがい出来る患者さん 価格:1500円

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

フィードバック方法は？



シルハを活用して
患者さんを
深掘り

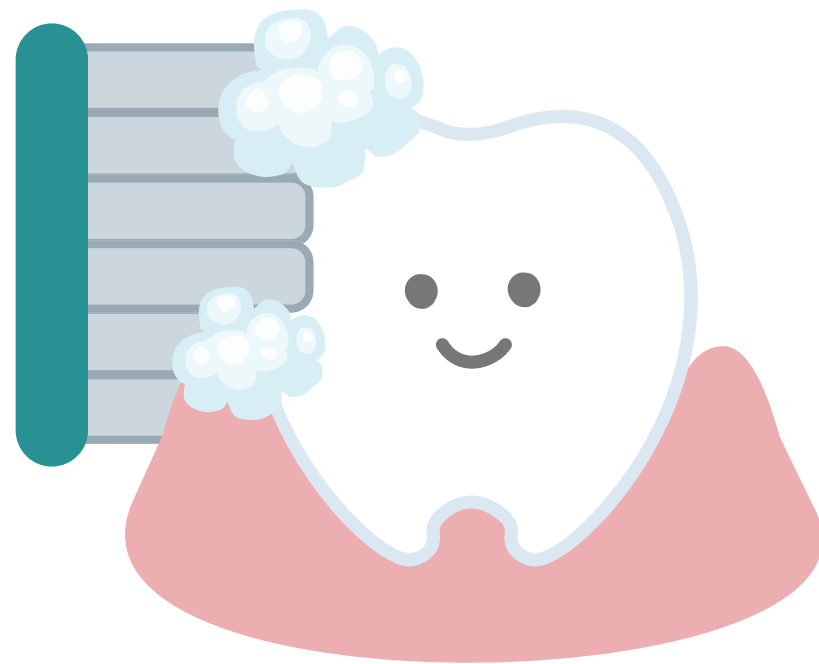
結果よりも患者さんへの
深掘りが重要！



シルハを活用して
患者さんを
深掘り

フィードバックのポイント

フィードバックの3つのポイント



1

結果の見方を説明

2

リスク部位を深掘り

3

できる事をアドバイス



酸性度と緩衝能
ごっちゃになっていませんか？
～酸性度リスクが高いのはなぜ？～

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

54歳:男性

主訴:歯がしみる・噛むと痛い

▶右上6 7 歯肉退縮 & 重度歯周病

シルハ実施▶2回目の来院時

口腔内所見



フィードバックのポイント

むし歯菌

平均レベル

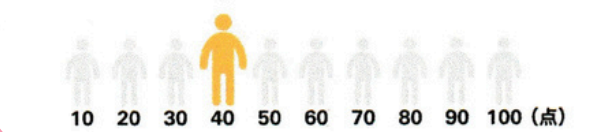
40点 /100点

<コメント>

むし歯菌の活動が多いと、むし歯になりやすことが知られています。

40～64歳の方と比べると?

あなた



酸性度

高め

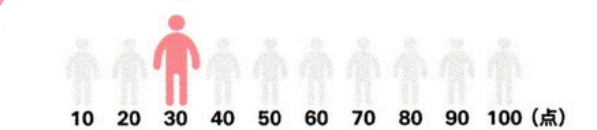
30点 /100点

<コメント>

酸性度が高いと、むし歯菌が少なくてもむし歯菌が活性化しやすくなります。

40～64歳の方と比べると?

あなた



緩衝能

強め

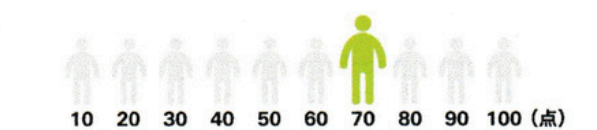
70点 /100点

<コメント>

緩衝能が強くても、だらだら飲食することでむし歯リスクは上がります。意識して気を付けましょう。

40～64歳の方と比べると?

あなた



白血球

多め

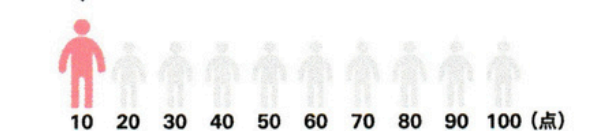
10点 /100点

<コメント>

歯肉に炎症があると、唾液中の白血球が多くなることが知られています。

40～64歳の方と比べると?

あなた



タンパク質

多め

10点 /100点

<コメント>

歯周病の原因菌が多く、歯肉に炎症があると、唾液中のタンパク質が多くなることが知られています。

40～64歳の方と比べると?

あなた



アンモニア

少なめ

100点 /100点

<コメント>

今回の検査ではアンモニア量は少ないという結果になりましたが、定期的に検査を受けて確認しましょう。

40～64歳の方と比べると?

あなた



シルハを活用して

患者さんを
深掘り

酸性度が高いことを深掘り！
→間食なし
→甘いものはとらない

シルハを活用して

患者さんを
深掘り

『お口が乾くと感じたことは
ありますか？』

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

『何十年もタバコを吸ってたからか
乾いてる感じは慢性的にあるかも、、
つい最近やめたんだけど
着色汚れも取ってもらいたくて、、
来院理由はそれもあるんだよね、、』

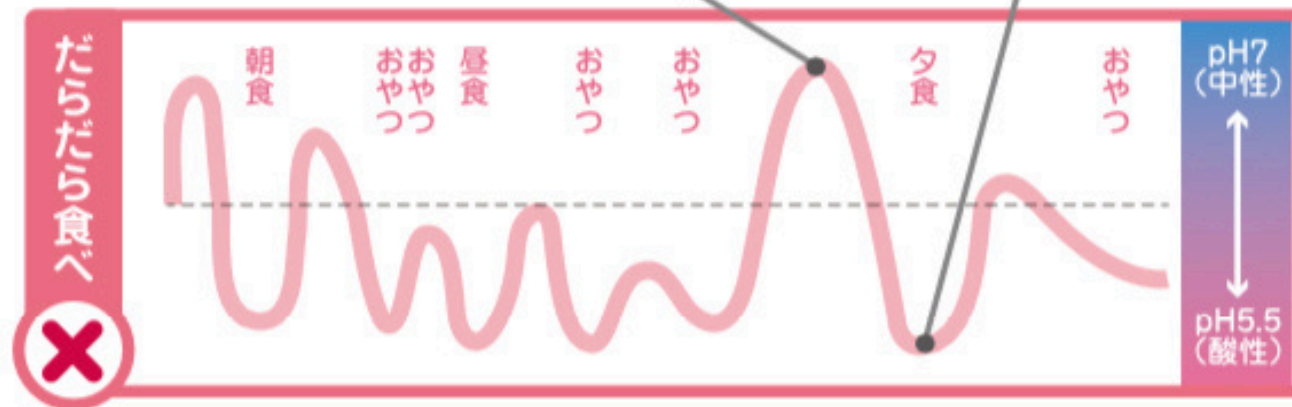
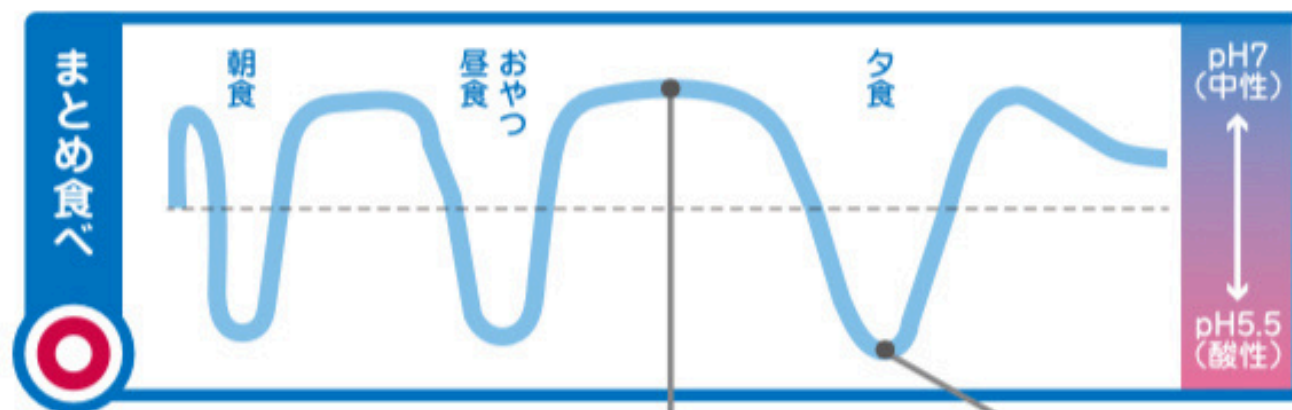
酸性度とは



酸性度ってなに？

お口の中の状態がどれだけ酸性に傾いているかを表しています。

ご飯やおやつを食べると、お口の中は数分で酸性になり、歯の表面のミネラル成分は溶かされ始めます(脱灰)。40分ほど時間が経過すると、だ液のはたらきによってお口の中が中性に戻り、歯のミネラル成分が元に戻る再石灰化が起こります。



お口の中が
酸性に傾いているかどうか
↓
酸に晒されている時間が
多いかどうか？

- ① 食生活
- ② 緩衝能の強さ
- ③ 唾液の量
- ④ 全身疾患

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

唾液量が少なくなる原因

加齢による変化



喫煙習慣

薬剤による副作用

利尿剤（ラシックス、フルイトラン）
抗コリン剤（アトロピン、ブスコパン）
抗ヒスタミン剤（ポララミン、レスタミン）
抗パーキンソン剤（アーテン、アキネトン）
向精神薬（抗うつ剤、トランキライザ

口呼吸

ストレス・ホルモンバランス



緩衝能とは

だ液を守る だ液のはたらき

だ液で知す
あなたのお口
SillHa
シルハ



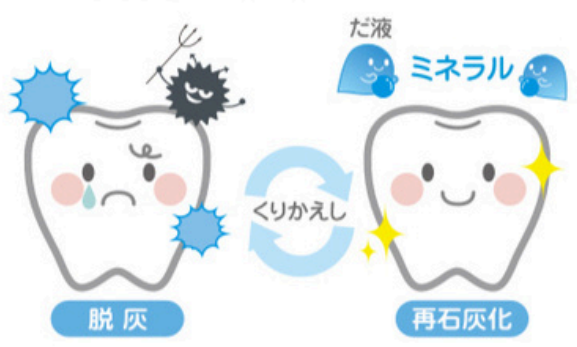
むし歯になる仕組み

食べ物を摂取すると、お口の中の歯垢(プラーク)の中にいるむし歯菌が糖分を分解して酸を作り出します。この酸によって歯の表面は溶け始め(脱灰)、その状態が長く続くとむし歯ができます。歯は食事のたびに溶かされ、歯の表面のミネラル成分が流れ出ているのです。



むし歯菌に溶かされた歯を元に戻すはたらき

だ液には多くのミネラル成分が含まれており、だ液のはたらきによって歯のミネラル成分が元に戻る再石灰化が起こります。



むし歯菌が作り出した酸を中和するはたらき(緩衝能)

口の中は食後、むし歯菌が作り出した酸によって酸性となります。口の中が酸性のままだと歯が溶けつづけてしまいます。だ液の働きによって口の中を酸性から中性に戻し、歯が溶けることを食い止めます。酸性から中性に戻す働き(緩衝能)が強いほど虫歯になりにくくなります。

緩衝能は生まれつきのもの。
ただし! 緩衝能が弱くてもだ液の分泌を促すことによって緩衝能のはたらきをカバーすることができます!

だ液が減ると...

口の中が乾きやすくなる、
口の中がネバネバする、
むし歯・歯周病・口臭の原因になる

だ液が減る原因は...

加齢、薬の副作用、ストレス、
不規則な生活、口呼吸、喫煙、
女性ホルモンの低下... etc

だ液の分泌量を増やす方法

- ☐ キシリトール入りのガムを噛む
- ☐ よく噛んで食べる
- ☐ こまめに水分補給をする
- ☐ 口呼吸を改善する
- ☐ だ液の分泌を促す食べ物を食べる
(梅干、柑橘類などすっぱいもの・昆布・たまねぎ・リンゴ etc)
- ☐ 唾液腺のマッサージ・舌の運動
- ☐ ストレスを解消する

歯科医院で
定期的な口腔ケア・
口腔チェックを
受けましょう!



歯を守る唾液の力

↓ その患者さんの 唾液の質

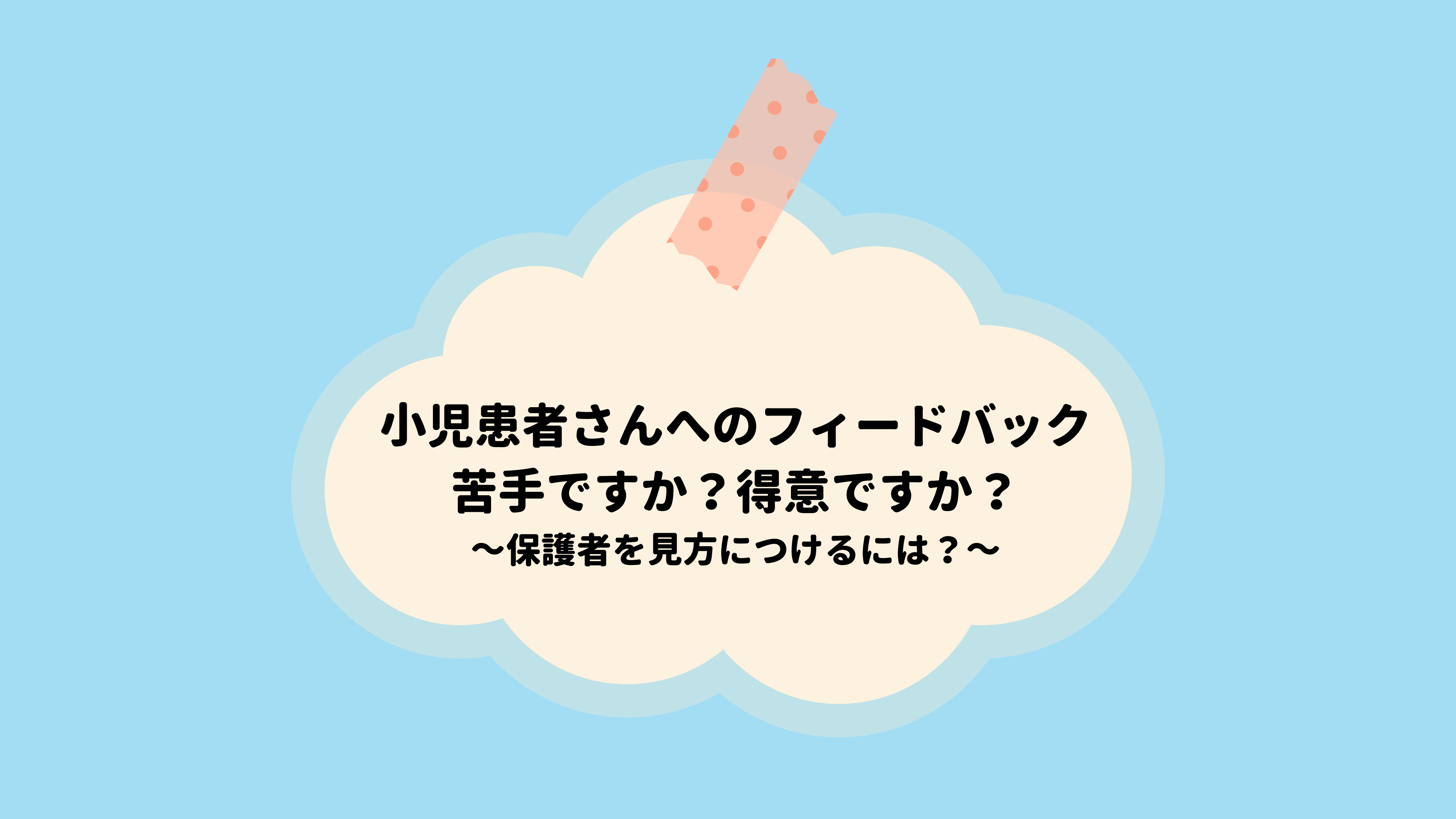
- ①質より量
- ②他のアイテムで補おう!

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

禁煙して間もないため
喫煙による唾液量の低下の影響が
残っていることを説明。
お口が酸性に傾いている事による
カリエスリスクを心配されていたので
フッ素洗口剤を提案。

→

重度歯周炎のため
これを機会に歯周治療もしっかり通う！
とやる気まんまんに通院中。



**小児患者さんへのフィードバック
苦手ですか？得意ですか？
～保護者を見方につけるには？～**

シルハを活用して
患者さんを
深掘り

7歳:女児

主訴:虫歯がある▶下顎左右Dにカリエスあり
シルハ実施▶2回目の来院時

この結果から
どんなお口を
想像しますか？

フィードバックのポイント

歯の健康

むし歯菌

むし歯のバイキン

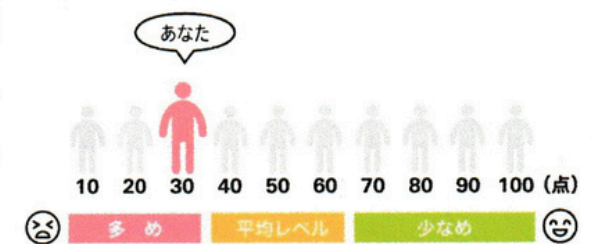
<コメント>

寝ている時に一番バイキンが元気に動きます。寝る前のハミガキはとても大切です。一緒にハミガキの練習をがんばりましょう。

多め
バイキンがおおい

30点 /100点

3～12歳の方と比べると？



酸性度

バイキンのすみにくさ

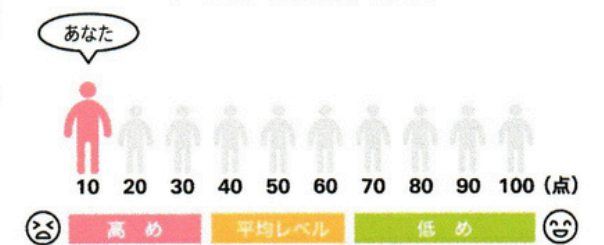
<コメント>

食べ物や甘い飲み物をダラダラと食べたり飲んだりしていると、お口の中のむし歯のバイキンが動きやすい状態になります。決まった時間に食べましょう。

高め
バイキンがすみやすい

10点 /100点

3～12歳の方と比べると？



緩衝能

だえきパワー

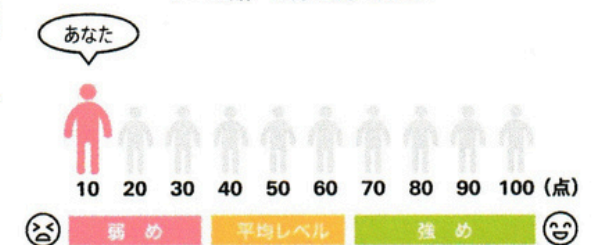
<コメント>

だえきのパワーが弱いです。むし歯になりやすい状態なので注意する必要があります。

弱め
だえきパワーがよい

10点 /100点

3～12歳の方と比べると？



歯ぐきの健康

白血球

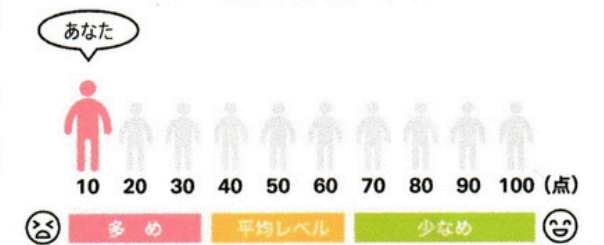
<コメント>

こどものお口も歯磨きがしっかりできていないと歯肉が腫れたり出血することがあります。仕上げ磨きと歯磨きの方法を確認しましょう。

多め

10点 /100点

3～12歳の方と比べると？



タンパク質

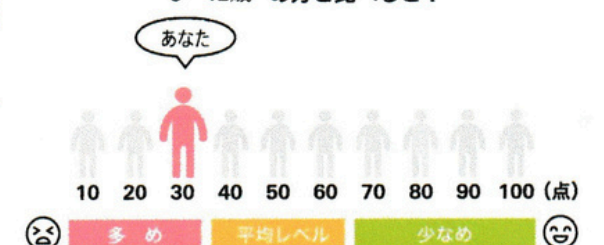
<コメント>

食べカスや磨き残しが多いと、ばい菌が増えてしまいます。今から定期的な検診と正しい口腔ケアで、大人になってからも健康なお口を目指しましょう。

多め

30点 /100点

3～12歳の方と比べると？



口腔清潔度

アンモニア

<コメント>

お口の中がキレイな状態を保つことができていないと、お口やはく息がにおいます。ハミガキをしてお口をせいけつに保ちましょう。

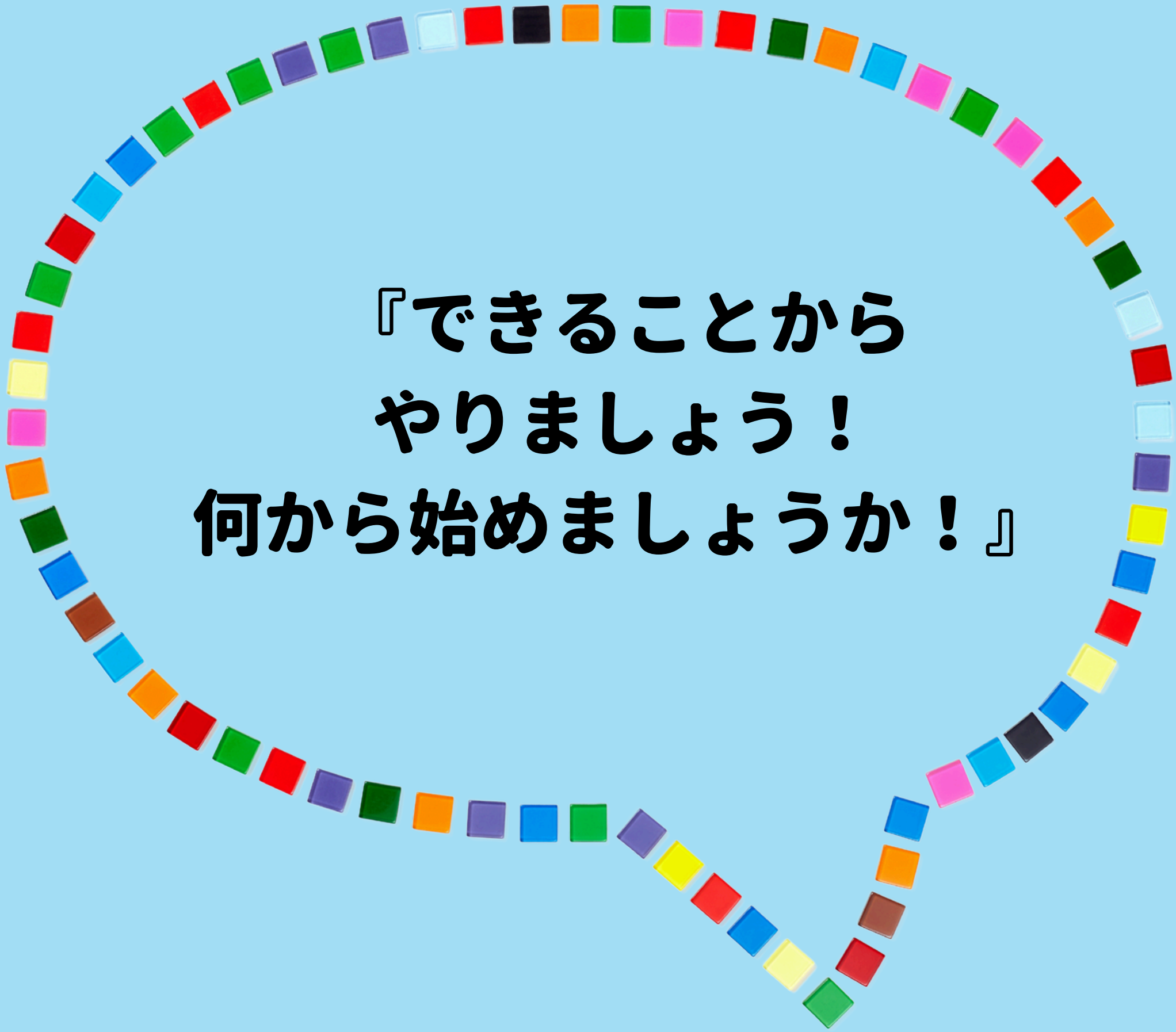
多め

30点 /100点

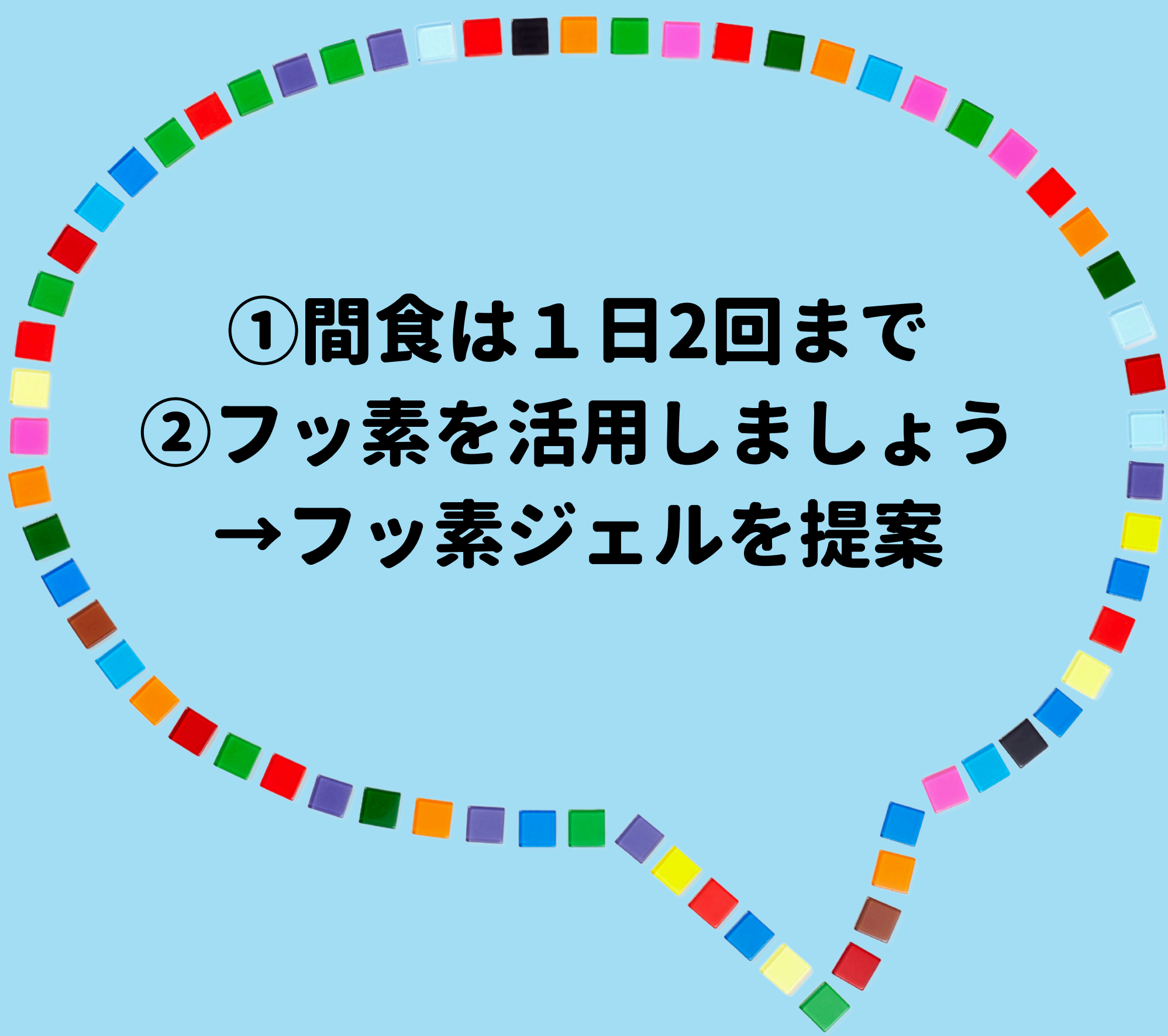
3～12歳の方と比べると？



とめどなく甘いものを食べる
鼻炎で口呼吸
仕上げ磨きがおろそか



『できることから
やりましょう！
何から始めましょうか！』

- 
- ①間食は1日2回まで
 - ②フッ素を活用しましょう
→フッ素ジェルを提案

- ① 結果にとらわれない
- ② 患者さんに質問しまくって
生活背景を深掘り
- ③ 結果に基づいたアドバイスで
モチベーションアップを狙う



fin



ご清聴ありがとうございました